

# 発達障害児の子育てと保育について 考えるための講演会＋巡回相談

一般社団法人 A-TRUCK 北国分駅前しゃりっこ保育園  
〒272-0837 千葉県市川市堀之内 3-18-25 グリーンマノリアル 2 階

## 助成事業の概要

障害の有無に関わらず子育て支援に関する情報を入手しやすい時代である。

しかし、本やインターネットで得る情報はその時に自分が必要としているものを偏って取り入れてしまうことが多く、いつの間にか誤った情報や信念に変形してしまうことがある。

そのためそれに由来する傷つきから支援の対象である子どもや保護者、保育士を守るためにも正確な知識を体験的に身につけることが必要である。また、実際の支援はその地域、家庭、保育園など具体的な状況を踏まえることが必要であるため、講師と参加者の協働を図ることが必要と考えた。講演会は、(A. 子どもの保護者向け) 8 月、(B. 保育者向け) 4 月・12 月・3 月の 3 回を予定し、北国分駅前しゃりっこ保育園において開催した。多くの保育園を心理相談員として巡回すると同時に、小児科、精神科などの医療機関のカウンセラーとして、子どもの発達や情緒に関わる問題に対して地域に即した支援をおこなってきた臨床心理士に講師を依頼した。

講師の方が県境を越えて来るリスクを軽減するため、1 回目以降の回では全てリモートにて行った。保護者向け講演会は延期 (8 月から 3 月)→中止。保育者向けの 1 回目は延期 (4 月から 10 月)、3 回目は中止。

巡回相談の 4 月 5 月は休園となったため中止。

## 事業の成果

今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集合講演会が開催できず、保護者向けは年度内で日程を調整したが、開催することができなかった。

年度当初にコロナウイルス感染症拡大防止で保育園が休園措置になったことで、講師の方の仕事の関係で、2 ヶ月の巡回相談中止、3 月は保護者向けを優先させたが、コロナウイルス感染症が収まらず、保護者向けも、保育者向けも開催できなかった。

開催できた保育者向けは、継続事業として行っているため、講師と保育士との信頼関係が生まれ、初年度より格段に相談しやすくなり、内容、子ども理解も深まったように思っている。

一年を通じて当該児の発達を追って、全職員で情報の共有を行った。まず、年度初めに当該児の発達の見通しや随時対応に苦慮していることなどを、全職員で話し合い、年間の発達の見通しを立てた。その上で、年度当初にコンサルテーションを行う予定だったが、非常事態宣言で休園になり 2 期からコンサルテーションを行い、講師にアドバイスを頂いた。実践に即したアドバイスを頂き、随時対応することができて行けたと思う。月次の巡回相談では、都度当該児について相談、確認し合った。

12 月のコンサルテーションでは、当該児についての発達が見通し以上に実践できていることを確認することができ、保育士も安堵の表情を浮かべていた。

全職員でコンサルテーションを行えたことは、保育の質の向上にもつながっている。

どの職員でも、当該児を深く理解し、同じ対応ができることで、当該児の生活に対する不安が減っていった状況を、全職員で実感することができた。講師に最新の情報を教えて頂きながら、保育の実践に即した対応をできることが重要と考えている。

見も頂いているので、コロナウイルス感染症が終息した際には、是非再開したいと考えている。

## ■ 成果の広報・公表

コロナウイルス感染症拡大防止のため、園内のみの事業となってしまったが、コンサルテーションを受けることにより、悩んでいることを相談できる体験を、全職員の前でもできることが、大きかったのではないかと感じた。

特に経験年数が多い職員は、相談することをためらってしまっていたので、信頼できる専門家に、子どもの対応について相談できる体制はとても大切であると再確認した。

専門家の助言が、職員全体の雰囲気を変えていくことも、重要な視点だった。

園外の方に、継続的に助言頂けることは、園の保育の質の向上に欠かせないものとなっている。

## ■ 今後の展開

講師にコンサルテーションを受けることは、現場の保育士にとっては、保育の質の向上だけでなく、精神的な安定も保てるとても大切な時間であったので、今後も継続的に続けていきたい。

講師との、信頼関係はなにもものにも代えがたく、子どもを深く理解してくれている講師との巡回相談は、日々の保育の実践に欠かせないものになっている。

保護者向けの講演会は、以前開催させて頂いたときに、気軽に参加できてとても良かったという意